

◆ 交通案内



② 鵜飼観覧船待合所



④ 鵜飼観覧船造船所

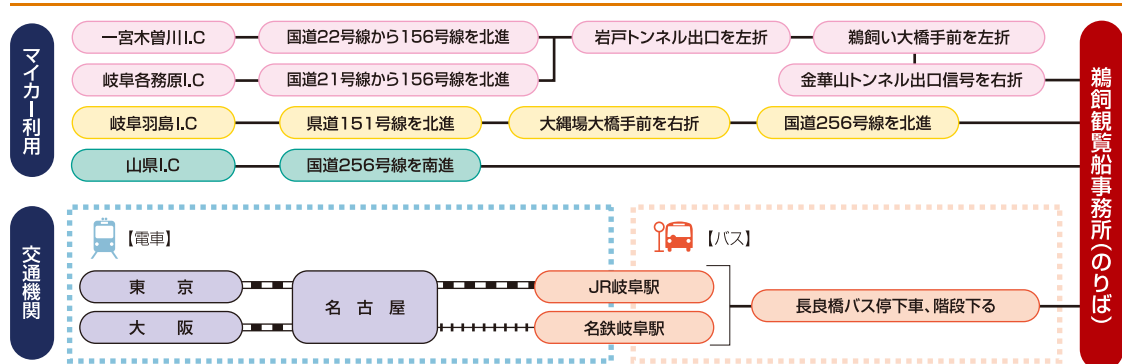


⑥ 川原町界隈



① 長良川うかいミュージアム

◆ アクセス案内



◆ 観光案内

岐阜市観光コンベンション課 〒500-8701 岐阜市司町40番地1 TEL058-265-3984
 岐阜市観光案内所 〒500-8856 JR岐阜駅構内(2F) TEL058-262-4415
 公益財団法人岐阜観光コンベンション協会 〒500-8833 岐阜市神田町1丁目8番地の5 協和興業ビル6F TEL058-266-5588

◆ お問い合わせ

乗船には予約が必要です。(お一人様でも乗船できます。)

岐阜市鵜飼観覧船事務所(のりば)

〒500-8009 岐阜市湊町1-2

TEL058-262-0104 FAX058-264-2061

URL <https://www.ukai-gifucity.jp/ukai/>

インターネット予約もできます。

公式ホームページは
こちら



ぎふ長良川の鵜飼
マスコットキャラクター
「うーたん」



CORMORANT FISHING
ON THE NAGARA RIVER

ぎふ長良川の鵜飼

開催期間
5月11日～10月15日
国際会議
観光都市 **岐阜市**



1



3

5 ◆ 日没を待つ

日没までたき火を囲んで待ちます。

6 ◆ くじ引き

毎日6隻の出漁順を、くじ引きで決めます。

7 ◆ 鵜飼の開始

①鵜籠から鵜を一羽ずつ取り出し、鵜の状態を見ながら手縄(たなわ)を結びつけていきます。

②手縄は、のどに巻く方を首結(くびゆ)い、羽の下にかけける方を腹掛けといいます。(首結いは鵜の状態や鮎の大きさにより締め具合を加減します。)

③篝火に火を入れて、いよいよ出漁です。

8 ◆ 終了

漁を終えた鵜が、舟縁で羽を休めます。

◆ 漁法の手引き

1 ◆ 鵜の選択

体調を考慮して、その日出漁する10～12羽の鵜を毎日選びます。

2 ◆ 鵜舟の準備

篝火(かがりび)の薪となる松割木、吐籠(はけかご)など鵜飼に必要な道具を舟に積み込みます。また、簀を吊るす簀棒は、樹液でスムーズに動かすため、ムクゲの枝葉と一緒に差し込みます。

3 ◆ 鵜を舟に

鵜舟の準備が済むと鵜籠に入った鵜を舟に乗せます。

4 ◆ まわし場へ

漁の準備をする上流へと鵜舟を走らせます。



6



8

ぎふ 長良川の 鵜飼

風雅1,300年
今に伝える感動絵巻

■鵜飼開催期間■ ※鵜飼休みの日を除く
5月11日～10月15日



鵜



鵜飼の鵜は渡り鳥で、野生の若い海鵜を茨城県日立市十王町で捕獲しています。捕獲した鵜は、鵜匠のもとで訓練し、一人前の鵜になります。鵜匠の手縄に導かれ、一生懸命に鮎を追う姿はきっと皆さんの心を打つことでしょう。

特別仕様 高級観覧船(貸切)

白月



柔らかな間接照明と白木が白の空間を演出

藍山



月の光も入り込むトップライトを備えた天井

花篝



橙、緋色など篝火をイメージした華やかな内観

◆ 観覧の手引き

※各時間は当日の天候、船数、イベント等によって前後します。

1 ◆ 受付(17:30から)

ご予約の時間より早めに鵜飼観覧船事務所窓口にて受付を済ませ、乗船券をお受け取りください。(乗船券には船名が記載されています。)

2 ◆ 鵜飼説明(17:45頃)

鵜飼観覧船のりばにて、鵜匠による鵜飼説明があります。
(御料鵜飼日および花火大会日を除く)
※御料鵜飼とは、禁漁区である「御料場」で、皇室に納める鮎を捕る鵜飼のことで、年8回行われます。

3 ◆ 出船(17:30～19:15)

指定された観覧船にご乗船ください。
鵜飼観覧ポイントへ向かいます。長良川・金華山などの風景をお楽しみください。
・乗合船 ①18:15 ②18:45 ③19:15 ・貸切船 17:30～19:15のご希望の時間

4 ◆ 川岸に停泊

鵜飼が始まるまでの時間を、お食事・宴会等でお過ごしください。
川岸にトイレ専用船が停泊しており、鵜飼開始までご利用いただけます。

5 ◆ 鵜飼開始(19:45頃)

鵜飼の始まりを告げる花火が上がリ、いよいよ鵜飼が始まります。
川の状況や観覧船の出船状況等により、「狩り下り」または「付け見せ」鵜飼と「総がらみ」をご覧ください。

狩り下り

観覧船が鵜舟1隻と並走して川を下ります。

付け見せ

停泊した観覧船から、鵜舟が順次観覧船のすぐ横を下る様をご覧ください。

6 ◆ 総がらみ

鵜舟が川幅いっぱい横一列になり、一斉に鮎を浅瀬に追い込む鵜飼のフィナーレです。

7 ◆ 下船(20:30頃)

余韻を楽しみながら下船します。



2



5



6

◆ 鵜飼観覧船のご案内

※出船時間・定員数は変更となる場合がございます。

◆ 乗合船

出船時間 ①18:15 ②18:45 ③19:15

◆ 貸切船

出船時間 17:30～19:15のご希望の時間
定員数 15人～50人



乗合船・貸切船

鵜匠

うしやう



宮内庁式部職であるぎふ長良川の鵜匠は現在6名で代々受け継がれています。親から受け継いだ技を磨き、1年中変わらぬ愛情で鵜を育てる彼らの生活は鵜飼ひとすじ。風折烏帽子に腰蓑姿という伝統装束の勇姿で華麗な技を披露します。

深い絆で結ばれた鵜匠と鵜 伝承の歴史

「おもしろうて やがて悲しき 鵜舟かな」と芭蕉も詠んだ鵜飼。日本における鵜飼の歴史はきわめて古く、日本書紀、古事記にもその記述が見られます。長良川の鵜飼はおよそ1300年(西暦702年の史料より)の歴史があり、岐阜の夏の風物詩として受け継がれてきたのは「鵜匠」という地位を与えた織田信長公や、鮎鮒を好んで江戸城へ献上させた徳川家康公など、時の権力者に保護されてきたからといわれています。

明治23年から鵜匠は宮内省(現在の宮内庁)に所属し、現在では「宮内庁式部職」という身分が与えられています。「長良川鵜飼用具」一式122点は国の重要有形民俗文化財、「長良川の鵜飼漁の技術」は国の重要無形民俗文化財に指定されています。伝統装束に身を包んだ鵜匠が「ほうほう」と声をかけながら鵜を自在に操って鮎を捕る様は、観る人を幽玄の世界へ誘います。